

Op.51

すりかえ

ふりおちる 日ざしの

ふきたまる ひたいに汗の

ふきなぞる ほおに風の

季節 いなづま

まどい 暑さの

貯水の池の

そこ 原の

水くさ みどり

ひかり もとめ のび

風に ゆれ ゆられ

ひかり 水 わすれ

季節 いなづま

つめあと 嵐の

貯水の池の

そこ かくれ

野のくさ ころく

葉のさき いき ついで

水 のみ のまれ

ひかり もとめて

うつつ いなづま

すりかえゆめの

ふりおちる 日ざしの

ふきたまる ひたいに汗の

ふきなぞる ほおに風の

Op.52

予行

にじんで ただよう 水彩の

くろ しろ あおに 灰いろの

かぶさる 薄絹 ソステヌート

呼吸の いきの しめりけの

みみ うら くびと たまつゆの

地熱 うるおし そらのそこ

うで ふれる 風

かみ なでる 風

始点 終点 しらぬ風

瞬間 瞬間 むすぶ風

うち立てられる 十字架の

前後 左右も 無識にきえて

葬られる 肉体も きえて

葬送の 足音に ゆれている

Op.53

喪失

剥き出しの路上
黒地に青の片翅
結果としての装飾
もう自ら動かずして

車道の流れ 一陣の風

肉体の 喪失 体熱の 喪失
黒地に 青の片翅
音なく 路上の磨掃
陽光と 地熱に 挟まれて

地表の ながれ 水奪のかぜ

意味の 喪失 体験の喪失
くろ地に あおの もひとつの
にじんだ かげの ばんそうこう
ただ そこに あるだけで

意識の なかれ

無尽の かぜ

Op.54

昇華

無波の蒼海 熱波の滝

朝 七つの夕べ

地に川の きら 流れ

断絶と 再会の物語

つがい
番の鴨の 浅瀬の 舞台

透明の天蓋 熱源の陽穴^{ようけつ}

過ぎる 暦の代替

溜まり水 乱反射 光の帯

水滴の結合 揺れる水草

鳥と鳥 浅瀬 底の石畳

うごかぬ そら くも たいよう

めにはいる せかい

とけあう ひかり みずの つぶつぶ

かぜもなく みずのむ みどり
とりと とり はくせい

醒める 肉体の器

切り取られた 静止画

額縁のない 静物画

Op.55

オスティナート

かたあし 体重 かたあし 体重

トンボ ゆうえい トンボ 遊泳

月 のまれ 星 まぎれ

朝 明るい 開始 便宜

白雲 滲み 陽光 落ち

片足 体重 両足 体重

遊泳 トンボ トンボ 遊泳

昼 蒼い天蓋 頂点の 欺瞞

とんぼ 残影 残影 とんぼ

たそがれ うすまく 陽光 ^{どんえい} 綴翳

両足 体重 かたあし たいじゅう

夕 風のみなぞこ くろ影の まこと

朝 もなく

昼 もなく

夕 もなく

あの 宇宙のうわずみ

たいようも

ほしも

ひかりも

どうじの せかい

ばらまかれた こうぶつ

Op.56

脈動

天蓋の縮小

黒い雨傘

ばらり ばらり

すける みずかけ

ひからぬ ながれぼし

ひとすじ ひとすじ

軌跡の結合 分裂

ぶちまかれた 雨つぶ

たいらな みち

池

川

軌跡の分裂 結合

向こう

せせらぎ

瀑音

音知

増量

軌跡の結合 増幅

つぶれた かまきり